



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜市保土ヶ谷区天王町二丁目・A計画	階数	地上5F
建設地	横浜市保土ヶ谷区天王町二丁目38-3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 竣工	評価の実施日	2017年8月4日
敷地面積	935㎡	作成者	安江 壘陽
建築面積	667㎡	確認日	2017年8月4日
延床面積	2,542㎡	確認者	安江 壘陽



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 商業地域であるため、1階には店舗を計画し、地域の賑わいを創出した。東側には住宅が建ち並ぶため白やベージュといった落ち着いた色を基調とした外観計画とした。		その他
Q1 室内環境 ①バルコニーの底による昼光制御。 ②F★★★★建材を仕様。 ③分煙に伴う喫煙室の設置。	Q2 サービス性能 ①内装材、換気ダクト、給排水管に長寿命仕様を採用。	Q3 室外環境(敷地内) ①中木、ピロティ、バルコニーによる日影形成。 ②道路に面した緑化計画。
LR1 エネルギー ①建物外皮の熱負荷の抑制	LR2 資源・マテリアル ①DOP=0かつGWP<50の断熱材の採用。	LR3 敷地外環境 ①駐車・駐輪場の確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



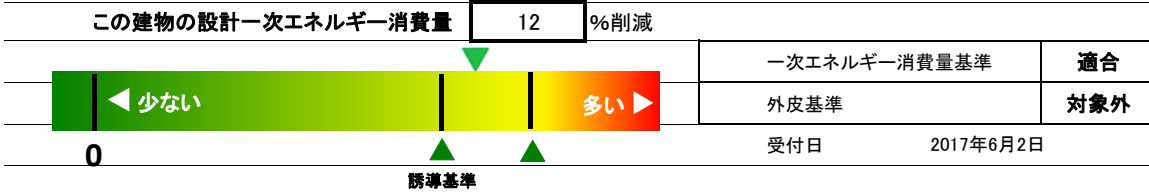
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜市保土ヶ谷区天王町二丁目・A計画**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①非住宅は[BPI_m]=0.65、集合住宅は等級3相当

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯主要内装材はビニルクロス、給水管に塩ビライニング鋼管(VB)、排水管に硬質塩化ビニル管(VP)を採用した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



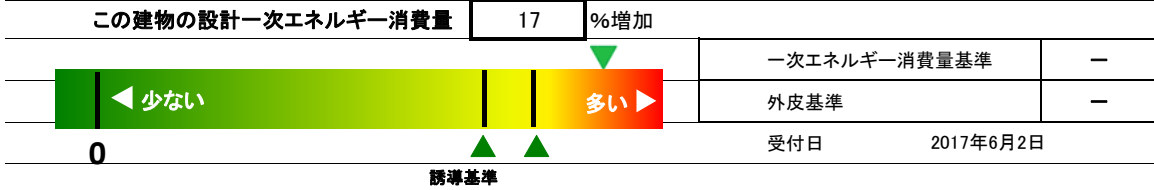
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜市保土ヶ谷区天王町二丁目・A計画**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 1**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①非住宅は[BPI_m]=0.65、集合住宅は等級3相当

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 2**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を使用。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯主要内装材はビニルクロス、給水管に塩ビライニング鋼管(VB)、排水管に硬質塩化ビニル管(VP)を採用した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入